

## 平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

### 1. 学校概要

学校名 松山市立新玉小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  中高一貫教育  高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他（ ）

所在地 〒 790-0011  
愛媛県松山市千舟町8丁目89番地

E-mail ara-eof@esnet.ed.jp

Website http://aratama-e.esnet.ed.jp/

児童生徒数 男子 269 名 女子 278 名 合計 547 名  
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ ）

### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

#### 【本校の取組の概要】

本校では、「地域と共に生きる力」を育成することを目標に、「地域を知る」「地域とかわる」「地域に尽くす」を活動の三本柱として、生活科、総合的な学習の時間を中心にE S Dに取り組んでいる。愛着のある地元地域をフィールドに、どの学年も実態に応じたテーマを設定し、課題解決に向けて、児童が主体的に学習を行っているのが特徴である。

この各学年のテーマに応じた学習に加え、アフリカのモザンビーク共和国【以下：モザンビーク】と関連のある学習を多くの学年で行っている。2007年から始まり、今年度で10年目を迎えており、本校の特色となっている学習である。

本校は、モザンビークの学習に長い間関わってくださっているNPO法人えひめグローバルネットワークをはじめ、地域、大学、企業、団体等多様な方とのつながりが定着し、専門的な知識や豊富な経験等を生かし、体験やつながりを重視した学習を展開することができるようになってきている。

以下、モザンビークと関連の深い各学年の取組【一部抜粋】について述べることにする。

#### モザンビークに関連した取組

教科等：生活科・総合的な学習の時間

学年：2～6年生

協力：NPO法人 えひめグローバルネットワーク 竹内よし子氏 他  
モザンビーク留学生

今年度も、それぞれの学年が発達段階に応じてモザンビークとのつながりのある学習を行った。生活科や総合的な学習の時間の中で、食べること、遊ぶこと、話合うことなどを通して発達段階に応じて学ぶことができた。



【2年生】 生活科で育てたサツマイモを食べるだけでなく、普段なら捨ててしまう葉っぱも料理して食べることができるという体験を行った。NPO法人えひめグローバルネットワークの竹内氏たちの協力を得て、モザンビークに伝わる「フォーリャ デ バタタ ドウッセ」を食べることで、自分の国とは違う食文化に触れた。



【3年生】 モザンビークについて知った後、その国の楽器であるマサラ、ティンビラなどで実際に音を出したり、カプラナを身にまったりした。モザンビークの留学生と直接出会い、関わることもできたことも、違う国のことを知り、理解する第一歩としてとてもよい体験となった。



【4年生】 モザンビークでも、最近給食が始まったという話を竹内氏から話していただき、実際に「ソージャ」というモザンビークの給食で食べられているものを作り、食べるということを行った。自分たちとは違う食文化に触れるとともに、自分たちの国で当たり前のことが当たり前ではないという現実を知ることにもつながった。



【5年生】 モザンビークの生活や環境、食について、現状を話してもらう学習からスタートした。自分たちとは全く違うことの多いモザンビークの生活に驚いたり戸惑ったりする様子が見られたが、同時にモザンビークの人々のたくましさや明るさについて知ることができた。モザンビークについて様々な視点から質問したことに対して、留学生が丁寧に答えてくれたことで、新しい発見がたくさんあった。



【6年生】 体験型ワークショップ「ハンガーバンケット」を実施した。世界の格差を疑似体験する活動で、世界の貧困レベルに沿ってグループに分かれた。それぞれの国での疑似体験を通して、不平等さを感じ取ったり自分たちができることを考え、行動に移すための話し合いをしたりした。あらゆる人々が平和な日々を送ることができる持続可能な社会を実現することの大切さを考えることができた。



また、竹内氏にはモザンビークや様々な国とつながったきっかけや、国際貢献を通して感じることなど、様々な話をしていただき、その生き方についても学ぶ機会をいただいた。

## 【E S D委員会】

今年度から、E S D委員会が発足した。竹内氏から新玉小学校とモザンビークとのつながりの始まりを聞いたり、今までの先輩たちの活動の様子について教えていただいたりした。



今年度は新玉小学校とモザンビークとの交流10周年を迎えたため、E S D委員会を中心となって集会を行った。

## 第6学年の取組

教科等：総合的な学習の時間

単元名：「自分らしい生き方をえがこう」

平和について考えよう・人生の先輩の生き方に学ぼう・わたしたちの新玉を創ろう～

協力：NPO法人 えひめグローバルネットワーク

認定NPO法人 国際地雷処理・地域復興支援の会

砥部焼 陶和会

キャリアコンサルタント

義肢装具士

アナウンサー等

## 【活動の様子】



## 【活動を通して】

- 一年間を通じた大単元を構想し、平和学習や人生の先輩の生き方に学ぶ学習を行った。様々な立場や職業の方々との出会いから、その人の生き方や考え方に触れる機会をいただき、たくさんの人から多様な話を伺うことができた。自分の知らない世界との出会いが、児童の視野を広げることにもつながり、自分自身を振り返ることもできた。それらの学びが、自分の将来について考え、誰かのためにできることを見つけて実践したいという思いにつながり、「わたしたちの新玉を創ろう」という次の活動へ広がっていった。今年度は、「カンボジア」「モザン

